

# 青木村消防団広報

## KODAMA

発行所／青木村消防団 〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 TEL.0268-49-0111  
発行責任者／岩下竜太郎 編集／青木村消防団本部班

No. 23

発行：平成29年2月1日



平成28年度青木村消防団役員



### 平成二十九年青木村消防出初式 式辞

団長 岩下 竜太郎

輝かしい平成二十九年の新春を迎え、長い歴史と伝統を誇る青木村消防出初式が、ここにかくも盛大に挙行出来ます事は、団員と共に喜びとするところであります。団員とそこご家族の皆様に対しましては日頃のご活躍とご苦労に深く感謝いたします。また、来賓の皆様におかれましてはご多忙の中ご臨席賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、当村におきまして火災による一件の出動と豪雨による一件の出動がありました。どちらも人的被害はなく、最小限の被害で食い止めることができました。特に火災におきましては糸魚川の大火の翌日と、非常に空気も乾燥し、風も強い中、迅速な対応での確な処置をしていただきました。これも川西消防署職員の皆様のご協力と、村民の皆様の日頃からの高い防災意識、そして団員の日頃からの高い防災意識、そして、村民の皆様の日頃からの高い防災意識、そして、団員の皆様の日頃の予防啓蒙活動の賜物と深く感謝いたします。

す。近年はいつどこで何が起こるか分からないという状況が続いております。昨年も熊本地震、糸魚川の大火と大きな災害が起こりました。その中には消防団員で被災した仲間も多くいます。自身が厳しい状況の中、自分たちの街は自分たちの手で守る、という消防精神のもと復興に臨まれる姿には強く感動いたしました。一日も早い復興を心よりお祈りいたします。このい

してまいります。そして村長はじめ村民の皆様におかれましては、防災設備の拡充や消防施設の更新など、消防団の活動に日頃より深いご理解とご協力誠にありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

どこで何が起こるか分からないという状況はもちろん当村にも当てはまります。なかなか消防団員の増員が見込めない中、防災技術の向上はもとより、新しい組織づくりにより村民の皆様へ安心安全な青木村をお届けしなければなりません。本年四月より消防団においては現行の四分団制から二分団制に移行します。今

さてここで本日は長年消防団活動にご尽力された退団者の皆様を紹介いたします。林正男前団長を始め、団本部、分団本部の要職を歴任された皆様、団員として常に前戦に立ち続けて頂いた皆様です。長年にわたり当村の安心安全のためご尽力いただきました。ありがとうございます。中には多くの同級生もいます。一抹の寂しさはありますが、今後も立場を変えて、消防団にご協力とご指導のほどよろしく願います。

以上細やかに村を知り、地域を知る必要があります。村の防災の担い手としてはもちろんのこと、村の未来の担い手としてなお一層の努力をして頂きたいとおもいます。

最後に、我々青木村消防団は複雑多様化していく災害に対し、郷土愛護の精神を胸に、伝統ある消防団精神に則り、全身全霊で立ち向かってまいります。

また、本日お越しの来賓の皆様には、当村ひいては当消防団に対し引き続き協力とご指導をよろしく願っています。われわれも上小地域の安心安全のため引き続き努力

結びに、本日も臨席賜りました来賓各位、並びに団員諸君の益々のご活躍とご健勝を又、青木村の無火災・無災害を記念申し上げ、式辞といたします。

# 平成二十八年を 振り返って

副団長 山田 修



平成二十八年度は小規模火災一件と、大きな災害も無く過ごす事が出来ました。村民の皆様は防災意識の賜物と深く感謝致します。

さて消防団では団員減少の中消防団組織の大きな改編を進めています。現行の四分団制から二分団制へ来年度は移行して行きます。本年度は移行に向けての分団編成・役員組織の見直し、統合後の活動内容といった議論を重ねてまいりました。今後も青木村消防団の未来を見据え議論を重ねて行きたいと思えます。

来年度は、新体制で臨むわけではあります。が、団員の創意工夫により力を合わせて村の安心安全を守っていきます。

村民の皆様におかれましては、更なるご理解とご協力をお願い致します。また、若い力を随時募集中です。是非一緒に村を守りましょう。

# 一年間の活動を 振り返って

本部長 相澤 利彰

村民の皆様には、日頃より消防団活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

本年度は、全国各地で大規模な災害が多く発生しましたが、本村では小規模火災一件と比較的平穏な年でした。

消防団の活動としましては、青木村消防講習会での救護講習や、県防災ヘリ「アルプス」への給水訓練を実施した青木村総合防災訓練、地域住民の方に御参加頂いた火災想定訓練等、今までに無い新しい活動が出来、技能向上が図られた年でした。

来年度には、分団統合や上小大会の青木村開催と多くの行事が有りますが、本年度培った経験を活かし、村民の皆様が安心安全に暮らせる様、精進してまいりますので、ご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。



# 一年間の活動を 振り返って

水利救護長 宮原 誠司



本部役員になった昨年を振り返るとさまざまな事がありました。

年度初め早々に火災想定訓練がありました。今までは団員や分団長として参加していましたが、本部役員という立場で運営になると状況は一変しました。行事の企画、運営をするのが団員のスキルアップの為何らかの課題を取り入れる様に企画しています。右も左も分からないまま任命され、今日に至っている訳ですが私がやって来たのは、消防の仲間をはじめ村民すべての人たちに育てられ少しずつではあります成長させて頂き何とか今を迎えています。村の安心安全の為任期満了までもう少しですが気を抜かず精一杯務めさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

# 平成二十八年を 振り返って

ラッパ長 奈良本 任司

ラッパ長に就任し間もなく一年が経とうとしています。

ラッパ班は、各分団より選出された二十名で活動しています。各分団での活動、有事の際の出動に加え、様々な団行事に備え日々ラッパの訓練に励んでいます。

本年度は初の女性班員が加わりました。男性の中で一生懸命訓練する姿は、非常に頼もしく思います。

昨年七月三十一日に行われた県大会においては、上小合同ラッパ隊として我がラッパ班からも五名がラッパ手として出場しました。私も指揮者として出場させて頂き、上小という広い場の中で非常に貴重な経験をさせて頂きました。

応援してくださった皆様、本当にありがとうございます。最後に、今後とも村の安心安全の為精進していきますので、村民の皆様のお力添えをどうぞ宜しくお願いいたします。



# 一年間の活動を 振り返って

警備長 池田 浩幸



村民の皆様には、日頃より消防団活動に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度、警備長として、夏祭り、出初式等の警備を行いました。小田駐在所長には警備に対する心得をご指導頂き、警備班員と共に車の誘導を滞りなくすることが出来ました。誠にありがとうございました。

今年度も各分団、本部班より、選手を募り、二年目となるポンプ車を率い、操法大会に出場致しました。

選手はもちろん、関係者もポンプ車の訓練を行うことが出来ました。又、次年度に繋げて行きたいと思えます。

最後に、村民の皆様は次年度から二分団制になりますことにご理解とご協力を賜り、安心安全な村づくりの為に消防団員一丸となって邁進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。